

2025年度 事業計画

本年度は、かかりつけ医機能報告制度の開始のほか、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想、医療DX、オンライン診療、医師偏在対策などの医療提供体制に係る重要な施策が進められるとともに、令和8年診療報酬改定に向けた議論も本格化していく。北海道医師会等関係医療団体とも連携し、会員病院がこれら諸問題に円滑かつ適切に対処できるよう国や道から積極的に情報収集を行い、会員に提供するなどして、的確に対応していく。

最近の人件費の急激な上昇や物価高騰などにより、多くの病院の経営状況は非常に厳しくなっており、今後もこのような状況が続けば地域医療が崩壊しかねないことから、必要な措置について北海道医師会等関係医療団体とも連携し、国や道に対し要望する。

従前からの「地域医療構想」は本年度が目標年度となるが、既に「2040年を見据えた新たな地域医療構想」の策定も進められている。こうした中、引き続き各地域において協会役員及び会員が積極的に調整会議に参画し、提言を行えるよう支援する。

医療従事者に対する研修会については、会員からのニーズに合わせて適時開催するとともに、定例的に開催している研修会のあり方について検討していく。

なお、本年度は全日本病院学会が北海道で開催されるため、慣例により北海道病院学会は開催しない。

地方における医師不足や偏在が深刻さを増す中、これまでのコロナ禍も相俟って会員病院施設の維持運営がより一層厳しい状況に陥っていることを踏まえ、緊急臨時的医師派遣事業による医師確保のみならず、ICTを活用したオンライン化等、医療体制確保のための新たな方策の活用についても積極的に検討する。

協会組織を活性化し、安定的な活動を行っていくためには、その基盤となる会員の一層の増強が必要なことから、当協会の理念や活動に賛同する新入会員の加入勧奨に取り組む。

北海道病院協会としては、本年度においても、会員相互の協力のもと、道医師会等関係団体とも密接に連携しながら、北海道の医療提供体制の充実を図り、地域医療の質の向上及び会員病院の経営基盤の安定に寄与する活動を行う。